



大谷石の魅力を全国のみなさんへお伝えする大谷石研究会の広報誌

10月18日真岡〜茨城研修・見学会より

# 大谷石の新たな取り組み

高橋 卓 NPO法人大谷石研究会 会員  
(有) KANEHON

10月18日大谷石研究会では今年2回目となる研修・見学会を行いました。見学先は、栃木県真岡市の海潮寺と木綿会館、そして茨城県猿橋郡にある(株)ギャラクスのショールーム内に展示されている大谷石の作品を見てきました。この作品には大谷石の新たな取り組みを予見させるものがありました。

東京都葛飾区に本社を置く、広告器具・装置の製造販売等をメインに展開する(株)ギャラクスの代表取締役の横内哲郎氏は本業であるサインのデザインに定評があり、数々のヒット商品を世に送り出している実力者である。大谷石の持つ温もりに惚れ込み約3年前に大谷町を訪れた。

(有) 山南石材店 社長兼デザイナーの高橋秀樹氏と出会い、大谷石のポテンシャルを高めるべく互いに持っている発想と技術を最大限に駆使した。ギャラククス専属スタッフ5名と昼夜を問わず2年超の歳月を費やし、ついに大谷石に施せる究極の彫刻を実現させた。

初めて彼等の作品を目の当たりにした時の衝撃は忘れられない。『この手が大谷石か』と思うほどに精巧な彫刻とともに、それが他の高級素材と驚くほどに調和し、その空間を高級感が支配している。最新鋭の機械・プログラミング技術・優れたデザイン・大谷石に対する情熱の四拍子揃った逸品である。

過去にも旧帝国ホテルや迎賓館などでデザインされた、熟練の職人の手により刻まれた大谷石は当館を訪れる人々に感動を与え現在でもなおその佇まいは大谷石の持つ魅力をさらに増幅させている。

人の手による加工の限界をはるかに超えた究極の超高級大谷石製品。見る人の思いは様々だが、大谷石産業の歴史に新たな一ページを刻んだ事に間違いはないと思う。



上写真はアラブ人がエスコートしている様子です。中央写真は全体の空間。(株)ギャラクスのショールームは一般公開されていません。詳しくは大谷石研究会へお問い合わせ下さい。

## 大谷石昔ばなし… 4 石屋根物語

### 塚田泰三郎の石屋根調査

柳宗悦が大谷石の石屋根の美しさに魅了され、石屋根の調査を思い立ったことは前号で紹介したが、この思いに見事に応えたのは塚田泰三郎である。塚田泰三郎は、本業は教師であったが、早くから濱田庄司と知り合い民芸運動に傾倒した者である。濱田庄司の仲介により柳宗悦から石屋根の調査を

任された塚田泰三郎は、石瓦の種類・大きさ・重量、石瓦の製作年代、運搬方法、石屋根の構造、さらには石屋根にまつわる言い伝えなどを調査し、石屋根の実態を明らかにした。石屋根がおおよそ大谷を中心に半径 16km の範囲に分布するのは、馬の背による石瓦の1日の運搬の範囲という。塚田泰三郎の調査結果は、昭和 11 年 5 月日本民藝協会発行『工藝』第 65 号に「石屋根特集」として掲載された。

大谷石蔵の集まる吉野町の一画。モダンな空間で正統派和食をご提供いたします。栃木県契約農家からの新鮮な野菜。下関、築地、金沢からの産直仕入れによる活鮮魚。「了寛」は個々のお客様の心地よい空間作りを目指します。

和食 了寛 028-611-7110 URL: www.ryo-kan.net  
栃木県宇都宮市吉野町1-7-10  
tel:028-611-1711 月曜・第二次曜日定休

Otowa  
restaurant

オトワ レストラン  
栃木県宇都宮市西原町3554-7  
Tel.028-651-0108  
www.otowa-artisan.co.jp